度比0・9%増の742

万修正したものの、前年

(5月) より0・5 浮下

浮上回った。

と、前回見通しを0・8 は前年同期比0・6%増 四半期の生産量(実績)

3・4%増の79万6千歳 以の見込み。 はっ酵乳は、 2%増の243万7千歳 降、前年を上回り、1・ 学乳が再開された6月以

から、今後、

約2万%削

すると見通し、

、同時点で

支援が行われていること で活用する取り組みへの 込み。政策で、飼料用等 増の7万8500%の見

ぱを 見込んでいる。

都府県

289 296

274 264

255

252

265

259

273 278

257 292

3, 255

前年比

100. 3% 101. 3% 100. 2% 97. 8%

99.9%

99.9%

100.4%

100.3%

99. 9%

95. 7% 98. 8%

100. 6% 99. 2% 100. 2% 98. 1%

99.5%

万5千ヶと、2年連続の

牛乳乳製品の需給動向を

外移出量)が飲用需要期

北海道

345

361

350

357

348

336

344

333

351

356

326

364

前年比

103. 1% 102. 7%

101. 2% 101. 1%

102.1%

101.4%

101.9%

102.0%

102.3%

103.0%

99.3%

102.9%

102. 3% 101. 5%

101.9%

北海道からの移入量(道

都府県の生乳需給は、

感染が再拡大しており、

新型コロナウイルスの

3四半期まで(4~12月)

る見通し。 都府県の第1 減少幅が〇・4ば圧縮す

20年度の生乳生産量と第

Jミルクは7月31日、

小するものの、都府県の

の362万計22。牛乳は

20年度

都府県の飲用需給ひつ迫

か

乳の12月末時点の在庫量

は、前年同期比13・2%

最需要期も高水準の見通

万2600%と、年末の 在庫量は38・0%増の3

が急増した家庭用バター し。なお、3月以降消費

は、引き続き堅調に推移

準となっている。脱脂粉

たことから、在庫が高水

減される見通し。

バターの12月末時点の

の牛乳乳製品の需給見通

乳生産量は、前回見通し

しを発表した。全国の生

## 

・ハウス栽培の台風対策 ・初産牛 分娩後体重上限650kg、 栄養で (6面)

 黒毛和種 ゲノミック評価高い個体が成績良好

増産を見込んだ。

生乳生産量の見通しを

第3四半期までの見通し 況。生乳生産量以外は、 見通すことは難しい状

る。12月末時点で4・8

%増の45万7千ヶになる

全国

657

623

621

602

588

609

593

634

583

656

, 915

1, 811

7, 425

前年比

101.8%

102.0%

100.7%

99.7%

101.1%

100.7%

101.2%

101.2%

101.3%

101.5%

97.7%

101.0%

第3四半期 1,826 101.2% 1,029 102.1% 第4四半期 1,874 100.1% 1,046 101.8%

101. 5% 1, 056 100. 5% 1, 040

100. 9% 4, 171

に増加すると見込まれ の7~10月にかけて大幅

2020年度の地域別生乳生産量(見通し)

にとどめた。

%減の325万5千%。 1千少、都府県は0・5 は1・9%増の417万 地域別にみると、北海道

牛乳類(牛乳、

加工乳、

牛乳等生産量のうち、

成分調整牛乳、乳飲料)

は前年同期比0・6%増

もに業務用需要が低迷し

は、脱脂粉乳、バターと

4月

5月

6月

8月

9月

10月

11月

12月 1月

2月

3月

第1四半期

第2四半期

博理事の退任に伴う補欠

の状況を踏まえ、今年度

選任。新理事に、

全日本

は見送ることとした。

となく再開

しようとする

を実施する。

被災後も営

機械·畜舍

酪農・畜

乳製品の需給について

道の伸び率は1・3浮縮

前回見通しに比べ、北海

生乳生

2年連続

増の

見通

発 行 所 公益社団法人全国開拓振興協会 〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-13 TEL 03-3586-5843

FAX 03-3586-5846

·ムページ http://www.kaitakusya.or.jp 全日本開拓者連盟・全開連・全国開拓振興協会共同編集

直近5	年の食	<b>計</b>	給率等	の動向		
					(%、	万 ha)
年度	2015	2016	2017	2018	2019	2030 目標
カロリーベース	39 66 28 450	38	38	37 66 25 442	38 66 25 440	45 75 34 414
生産額ベース	66	68 27	66 26 444	66	66	75
飼料自給率	28	27	26	25	25	34
農地面積	450	447	444	442	440	414
等は、米の消費減少や魚、は6%で、前年度と同じなったが、好天によ、上昇や小麦の生産量の増のとなったが、好天によ、上昇や小麦の生産量の増の大類の不漁がマイナス要、だった。国産豚肉の単価が関の下漁がマイナス要	生産額べ	り、依然として低水準が続いている。 量低力準だった育名度が続いている。	を上回ったのは、8年以来11年ぶり。だが、過去	1日当たり国産供給熱量は918㌔沿)。前年度人1日当たり供給熱量2426㌔沿のうち、1人	自給率は前年度から1湾上昇し、38%となった(1米自給ブ推榜を公表した、プロリーへーブの食料	料目合り旨票となる。フェリード、くりませ農水省は8月5日、19年度の食料自給率及び食

となったが、好天によ 類の不漁がマイナス要 小麦の単収増加などが は、米の消費減少や魚 カロリーベースの自給 上昇や小麦の生産量の増 は66%で、前年度と同じ 加がプラス要因となった だった。国産豚肉の単価 生産額ベースの自給率

寄与し、上昇した。 が、野菜の増収に伴う単

> どが影響した。 価下落や魚介類の不漁な ている。

19年度河岸风食料自給率38%

1%上昇も低水準が続

79%、果実は前年度と同 年度と同じ6%にとどま と同じ97%、小麦は4% ベース)は、米が前年度 った。野菜は17%上昇の じ38%だった。 上昇の16%で、大豆は前 品目別の自給率(重量 の。カロリーベースでは 内生産の割合をみたも 料全体の供給に占める国 に示した。飼料が国産か 輸入かにかかわらず、食 い「食料国産率」を新た 食料自給率より9浮高い

77%、濃厚飼料自給率は 飼料自給率は1%上昇の やや増加した。うち、粗 かったため、国産飼料も て天候被害の発生が少な 把握するために試算。米 か」(潜在生産能力)を 大限生産することが可能 の食料(カロリー)を最 内生産のみで、どれだけ 食料自給力指標は、「国

せる必要がある。

%だった。国産畜産物の 出} は、前年度と同じ25 消化養分総量)換算で算 飼料自給率{TDN(可 3 浮高い 6%となった。 食料自給率を高めるに は、飼料自給率を向上さ 47%、生産額ベースでは

飼料自給率を反映しな ・小麦中心の作付けの場 54音階で前年度より27 合は1人1日当たり17

り、近年は低水準の横ば

対策を発表

した。被災し 被害への支援 豪雨による農 7月30日、令

1を支援する。

営農再開に向けた支援

き上げて事業費の2分の 者を対象に、補助率を引 者として市町村が認める

林水産関係 和2年7月

農水省は

長期的には低下傾向にあ な指標となる。自給率は 食料安全保障上の基礎的

前年度と同じ12%となっ

加に対し、前年産に比べ 増加による飼料需要の増

向け、

被災

導入を支援(同)。 用牛の代替家畜の

▽不足する粗飼

き沼増加し、イモ類中心

るとしている

り対応する。

今回の豪

雨で、河川の

▽簡易畜舎等の整備、

に、総合的

な対策を講じ

支援するため、次のとお については、経営継続を

く経営再建できるよう た農林漁業者が一日も早

氾濫による浸水被害が広

い地域で発生

生し、果樹、

葉たばこへの土砂

去等に要する経費を助成 理、土砂・がれき等の撤 畜舎や機械等の簡易な修

(畜産経営災害総合対策

の損壊、林は

械、畜産物処理加工施設 流入、農業用ハウスや機

緊急支援事業)。

難・預託、死亡し

▽被災家畜の避

た繁殖用家畜・乳

食料自給率の目標は、

の確保や省力化技術など 単収向上に加え、労働力 39万7千診で、前年度 作付けでは推定エネルギ 7き沼で9き沼減少し 活に近い米・小麦中心の 上回ったが、現実の食生 た。結果、イモ類中心の の作付けの場合は253 も重要となっている。 向上のため、農地の確保、 た。食料自給力の維持・ より2万3千診減少し 作付けでは下回った。 ー必要量21685沿を 19年度の農地面積は4 実に推進することが求め 達成のため、各種施策で の隔たりが大きい。目標 で75%とする目標を掲げ の自給率をカロリーベー 連続で40%を下回った。 カロリーベースでは10年 い傾向で推移している。 農業の生産基盤強化や国 ている。現状は、目標と スで45%、生産額ベース では、30 (令和12) 年度 産農産物の消費拡大を着 食料・農業・農村基本 農業政策の指針となる (20年3月策定)

14・8%増の1万530 いる。Jミルクは、 都府

る。

パッケー

生業支援パ

菊地文夫氏を 新理事に選任

協会会長は7月17日、会 **員に提案書(第1号議案** 西谷悟郎全国開拓振興 全国開拓振興協会 会事業を中止今年度の講演

員の同意 (賛成) が得ら た。7月31日までに全会 の件、第2号議案=理事 1名選任の件)を発出し 基本財産取り崩し承認 第2号議案は、平嶋勝 場:福岡市)を予定して ち、講演会事業を取り止 める。10月中旬に開催(会 今年度の研修事業のう ルスの全国的な感染拡大 いたが、新型コロナウイ 全国開拓振興協会は、

援する。

事

再建、

修繕、

農業者支援 り総合支援

とする。

例年以上にひっ迫基調で 0½を見込んでいる。 推移する見通しとなって 都府県の飲用需給は、 対策などの重要性を指摘 べく、生産現場での暑熱 県の需要に最大限応える

文夫氏 開拓者連盟委員長の菊地 代表理事組合長)が選任 (栃木県開拓農協

る支援、再覧

砂等の撤去に

防止の観点を

開に向けた えた農地等の早期 復旧、農業用ハウス・機 械等の導入・ 支援など。

父付金(被災 ・担い手づく 支援、営農再 助成(同)。

美。 農経営支援総合対策事 農家への出役を支援(酪

肉豚経営安定交付金(豚 ため、肉用牛肥育経営安 家の資金繰りを支援する 定交付金(牛マルキン)、 また、被災した畜産農

#### ジにより支援す 林漁業者を生活・ 出た。経営再建に などで広範囲にわ たり大きな被害が を踏ま 度災害 に対す した土 は、農 ジに盛 した農 地荒廃 ッケー 酪農• 豪雨被害への対策

等に要する経費を 料を購入する場合

助成(同)。 する経費を助成 電源の確保等に要 的に行った非常用 同。 ▽停電時に緊急

地等に堆積 り込む対策

防管理等に要する経費を ▽酪農ヘルパーの被災 乳房炎の治療・予 ▽乳牛に対する

型)を発動し、

強い農業

農業用ハウス・機械等の 農をやめるこ 等について、 産関係では、 前着工も可能 再取得を支 者負担金の納付猶予など マルキン)における生産

報

## (2)

# 食料・農業 知っておきたい話 第88回

# にも可じにも言意にも意

# 東京大学教授 鈴木宣弘氏

生基準の改定における について考えてみたい。 略農における放牧の意義 騒動の顛末から、畜産・ の驚きと、そ 放牧中止」案をめぐる 今回は、家畜の飼養衛 放牧中止」案 声が上がった。 ちろん、全国的な疑問の 制限があった場合に家畜 ェルフェア(快適性に配 ため、放牧農家からはも 保」などが盛り込まれた を飼養できる畜舎の確 した家畜の飼養管理) 放牧は、アニマル・ウ

から削除される顛末があ とで、反対世論が噴出し、 中止」が盛り込まれたこ 0年5月公表)に「放牧 生管理基準」案(202 て国が改定する「飼養衛 6月に提示された最終案 の削除の驚き 豚熱の防疫強化策とし の最重要要素のひとつ

情

拓

ることは通常はまずない それで当初案が変更され リック・コメント)募集 「アリバイづくり」で、 の意味からも、放牧禁止 感染症の原因であり、そ 大していることこそが、 が病気を防ぐ基本中の基 は、逆行しているように 本である。工場型のメガ 環境で健康的に育つこと ギガ畜産が増え、「3 何より、家畜が快適な 」の舎飼いがむしろ拡

の展開となった。 が、その意味では、

パドック マル・ウェルフェア、バ ル、オーガニック、アニ ィオダイバーシティ(生 スイスでは、ナチュラ

牛に無理をさせるこ

のである。

ろうか。

県減った。だが、主産地

主産地の東北・関東・北

間約10万%

と増えた。

化されてよいのではなか

と政策的支援(社会貢献

そ、欧米のように、もっ

への対価の支払い)も強

等における舎外飼養の中 「放牧の停止又は 物多様性)、景観等への の生き物にも、景観にも るという。環境にも、人 者は納得して買ってくれ 取り組みをより徹底すれ は 優しく生産された農産物 にも、動物にも、その他 ば、価格は割高でも消費 今回の議論は養豚だけ できたものも、ホン

るグローバルGAP(農 業生産工程管理)などの が現在取得を推奨してい が遅れている。日本政府 難なこともあって、日本 重要項目にもなってい は世界的にも、その推進 で、土地面積の確保が困 が酸欠症でバタリと倒れ 素の多い牧草によって牛 を増加すると、牛が快適 スペースがないのに頭数 が十分に運動できる放牧 尿の過投入で、硝酸態窒 でないだけでなく、ふん ムでも取り上げたが、牛 て死亡してしまう。

開

国民からの意見(パブ

率が高まるとのデータが 代表格であるが、米国で、 明らかになってきた。結 ていたにもかかわらず、 絶対に大丈夫だと言われ 成長ホルモン) 前立腺ガンや乳ガンの確 追求しようとする技術の は、牛を酷使して効率を 伝子組み換え牛 rBST (遺

場合の放牧場、 臣指定地域に指定された 基準の改定案には、「大

> ような形で財政からの直 して170万円、という ができるので、それに対 地の生物種を20種類から 木林化を防ぐことで、草 刈りをし、木を切り、雑 に飼うと230万円、 70種類に増加させること 所と寝床を区分し、外に た農家では、豚の食事場 らが2008年に訪問し という感覚である。 も自由に出て行けるよう い支え」に加えて、筆者 そうした消費者の「買 月13日~6月11日にかけ 保」は「避難用の設備の 豚をまとめて管理できれ 間にパイプなどで囲い、 案から「舎外飼養の中止」 れ、それを受けて、最終 した。 ばよく、新たに畜舎を建 確保」に変更され、「夜 が削除され、「畜舎の確 てパブコメ募集が行わ てる必要はない」ことと 改定案に対しては、5

接支払いが行われてい

ではない。以前に本コラ ともいえる。つまり、自 の健康に様々な悪影響を に変更してしまったツケ もまた、そうであった。 が、環境や牛の健康や人 然の摂理に逆らうこと する牛の食生活を人為的 牛乳の成分を高めるため に、通常なら草を主体に 及ぼしつつある。 BSE(牛海綿状脳症) も、人にも、環境にも優 成り立たない。牛や豚に れば、経営も長期的には や豚になってもらわなけ 豚を大切にし、健康な牛 盾するのではなく、牛や ことにはならない。 存続と牛や豚の健康は矛 しい酪農・畜産は経営効 だから、経営の成立・

0 健康がすべてにつながる

を得る最良の方

とによって、そのツケは 人にも波及してきている っても、全員で「泥船」 とは大事だが、牛を酷使 なものである。つまり、 に乗って沈んでいくよう 目先の業界の利益にはな うことになろう。かりに も蝕むならば、それで儲 回りまわって人の健康を し、環境に負荷を与え、 かって何になるか、とい 長期的には、本当の意味 経営効率を優先するこ ことは、人々にも安らぎ 率とも矛盾しないのだ。 草地が十分に確保される 気と同じ品質の空気」、 は次の三つである。「外 にも貢献する。 減し、地球温暖化の防止 壌中に貯留することによ を与え、二酸化炭素を土 って空気中への排出を削 「草原と同じ機能を持っ 牛にとって理想の環境

モノで、安全でおいしい た。放牧は補助金で推進 するのが諸外国の政策で なパブコメが席上配布さ れて、紹介されて終わり、 かぎりにおいては、膨大

どで、それに基づいた当 というパターンがほとん 初案の変更といったこと が審議会で議論された記 その意味では、行政の

筆者が過去に経験した えるかもしれないが、そ 後の政策議論の展開の仕 ることが実感される。今 世論形成力が強まってい れほどにネットを通じた 柔軟性が高まったともい 力に示唆的である。

月の見通し

(187万少) 以来。今年3

がある。

状況で上振れする可能性

だった16年3

での経営効率を追求した タントの菊地実氏)。 た牛床」、「食う、飲む、 想に近づける」ことであ 考え方は、少しでも「理 牧経営が一番の理想型と いえるが、我々に必要な 横臥の自由」(コンサル 放

2020/21年の主食用米等の需給見通し

実は、 にも優しいことこそが、 牛や豚にも人にも環境 長期的・総合的 に、高い生産性

20年6月末民間在庫量

果は、社会にメリットを われていない。だからこ その対価が農家には支払 提供しているが、通常は、 はないだろうか。 全体にも貢献できる道で 環境に優しいという効 法であり、社会

### 19 来年6月末民間在庫200万小 米の需要実績22万% 減

差し引くと、21年6月末 万少と算出。供給量から

された。6月末の主食用 などの基本指針案が了承 格の安定に関する基本指 策審議会食糧部会を開 超え、米価が下落する可 米の在庫が200万%を た主食用米の需給見通し 針」を諮問。同省が示し 内で食料・農業・農村政 (万トン) 農水省は7月30日、 201 「米穀の需給及び価 価格(全銘柄平均)は、 需要実績は、前年の73 超となっている。 った。19年産の相対取引 13万少(速報値)とな 5万シから22万シ減の7 60章1万5735円で、 20年6月)の主食用米の 能性が出てきた。 17年産以降、1万5千円 19/20年(19年7月~ 近年、主食用

709~717 20年産主食用米等生産量 В C = A + B715 ~204 E=C-D196 20年産主食用米等生産量は、各産地の6月末現在の作付け意向を踏まえると、作柄状況等によっては、上振れする可能性がある。 :20/21年主食用米等需要量は、過去のデータを用いてトレンドで算出した20/21年の1人当たり消費量(推計値)に、20年の人口(推計値)を乗じて算出した値であり、新型コロナウイルス感染症の状況等によっては、下振れする可能性がある。

見通していた。 20年の需要量を 3月時点で19/ る。同省は今年 程度減少してい 米の需要は停滞 新型コロナウイ 前年比8万ヶ減 量は年間10万% の727万ヶと しており、需要

った。 となった。 み、予想以 超えるのは、 して201 量は前年か ど業務用の 20年6月 小超も 200万%を 力少(速報値) ら12万ヶ増加 末の民間在庫 上に需要が減 販売が落ち込 204万% れる在庫水準の180万 が前提。作付面積と作柄 万少)より減少すること 19年産米生産量(726 し。需給が安定するとさ は、20年産米の生産量が の民間在庫量は196万 ゾを上回る。 -204万シンとなる見通

20/21年の需給見通し

と、20/21 21 なる 月末の民間 約10万ヶ減 21年6月) 910万~ た適正生産量の709万 3月の基本に ~717万% を大きく超 • 8点 (推 20 21 年 同 20年産米の 麦 を乗 の生産量は、 えた。 じて、715 計値)に人口 たり消費量56 の需要見通し 918万%と 年の供給量は 在庫量を足す )と仮定。6 ゞ (19年産比 指針で設定し (20年7月~ となる。 の備蓄量は9万~9万% を売却する。21年6月末 米として、13万~21万~ ら飼料用などの非主食用 米の買い入れ契約数量は 庫は9万少、20/21年産 程度)。20年6月末の在 る(原則21万½×5年間 月末)として保有してい 準を100万少程度(6 事態に備え、適正備蓄水 21万シで、5年持越米か いては、供給が不足する 政府備蓄米の運営につ

20年産の作付け意向調査

Ě

果を発表した。主食用米 主産地の北海道など10道 の作付面積を「前年並み 物等の作付け意向調査 年産の主食用米、戦略作 傾向」としたのは、前回 (4月末時点) に比べ、 (20年6月末時点) の結 農水省は7月17日、20 傾向が35都道府県から25 緩和が懸念される。 ままで、依然として需給 の多くが前年並み傾向の 都府県へと減り、減少傾 前回同様なかった。ただ、 向が12府県から22道府県 へと増えた。増加傾向は 前回に比べ、前年並み

> ると推計し のの、「微! 飼料用米のプ 付面積につ 道県から28 いる。戦略な 傾向で、同 陸の多くの 「前年並み」 一方、転 ている。 いて、前回の 減少傾向が20 作物のうち、 作は停滞して 減」にとどま 」から減るも 省は全国の作

減っている。 8月末まで追加・変更を 組むことが必要」として 受け付けている。米価安 から飼料用米などへの仕 定のために、「主食用米 向け先の変更に一層取り

用米で17県 主食用米の の需要量は年 から20府県へ **運府県、加工** 県が前年並み ス感染拡大の影響で、飲 いて、提出期限を延長し、 食店などの業務用需要が 今年は新型コロナウイル の取り組み計画書等につ 大きく減っている。 同省は、飼料用米など

+0.6% (前年比) 9,121

9,068

3,03

376

5,611

2018年

物は172億円(10・8 70・8%を占めた。 林産

チゴは17億円(7・4%

億円(28・0%減)、イ 円と伸びた。リンゴは39

8,071

2,749

355

4,966

2017年

(27・9%減) だ 水産物は103

・4%減)、日本酒は91億 増)、緑茶は69億円(5

などを図り、国民生活に

民理解を醸成するとして

農林水産業の役割への国

また、食料安全保障や

本支所東京

酒

農林水産物・食品 輸出額の推移

水産物

2,873

林産物

370

農産物 5,878

2019年

2917億円(前年同期

比1・8%増)と全体の

4,486

1,430

193

2,864

2019年 1-6月

※財務省「貿易統計」を基に農水省作成

輸出額の内訳は、農産 (加工食品を含む)が

4,120

1,031

2,917

2020年 1-6月

乳・乳製品などが伸びて

増)、鶏卵が20億円(1

04・1%増)と好調だ

米(援助米除く)も好

28・9%増の27億

が114億円 (21・5%

した。

用需要の高まりで米や牛

(毎月1回15日発行)

実績を発表した。輸出総

の世界的な感染拡大で、

た。新型コロナウイルス

落ち込んだ。一方、家庭

減ったが、牛乳・乳製品 2億円 (23・0%減) と

減の4120億円だっ

一杯水産物・食品の輸出

年上半期(1~6月)の

農水省は8月4日、

20

額は前年同期比8・2%

外食・業務用需要が低迷

に伸びていた牛肉は10

と伸びた。昨年まで順調 38億円 (3・1%増) 別にみると、畜産品が3

し、牛肉や日本酒などが

上半期

肉

23%減、米は

29 % 增

なった。内訳は、プロセ と3年連続で前年割れと

拓

スチーズ原料用が7・0

開

食品輸

8

**%** 

減

農産物の輸出額を品目

2%減の4万4396%

報

# ズ総消費量、5年連続で最高更新

(トン、%)

2019

44, 396

19, 401

24, 995

286, 938

94, 215

45, 647

2018

45, 384

20, 851

24, 533

93, 81

51, 122

前年度比

97.8

93.0

101.9

102.6

100.4

89.3

# 19 年度 国産 割合は13%に低下

回ったものの、ナチュラ 公表した。 プロセスチー 年度チーズの需給表」を スの消費量は前年度を下 農水省は7月17日、19 4995<sup>2</sup>/<sub>2</sub>° 用)が1・9%増の2万 同原料用以外(直接消費 %減の1万9401%、 業務用、その他原料

度を上回り、

総消費量は前年度を1

チーズの需給表

2015

45, 988

24, 174

21,814

248, 054

80, 392

58, 407

2010

46, 241

26, 385

19, 856

189, 466

64, 439

58, 162

144, 883

116, 549

107, 172

9, 377

261, 432

29. 1

19.0

の生産量は前年度比2・ は6年連続で低下した。 チュラルチーズベース) 5年連続で過去最高を更 に占める国産の割合(ナ 一ズの増加で、総消費量 ルチーズの消費量が前年 国産ナチュラルチーズ した。ただし、輸入チ 総消費量は 19万27235% の9万4215%、同原 の22万6938かと3年 チーズ総量は2・6%増 料用以外が3・8%増の た。内訳は、プロセスチ ズ原料用が〇・4%増 続で前年度を上回っ 一方、輸入ナチュラル ・5%上回る35万822

7718 シと3年連続で 費量は3・5%増の21万 前年度を上回った。 ナチュラルチーズの消 プロセスチーズの消費

%減の8717%。 量は1・5%減の14万5 が0・9%減の13万17 94少、輸入量が9・6 た。内訳は、国内生産量 11ヶと5年ぶりに減っ

2017

45, 512

21, 785

23, 727

266, 979

87, 941

52, 932

めている。 ルチーズが60・8%を占 9少となった。ナチュラ チーズの消費量は近

国産ナチュラルチーズ生産量①

プロセスチーズ原料用

チーズ総消費量の国産割合

乳の確保が課題となって り順調に伸びている。だ 向で推移しており、原料 康志向の高まりなどによ 年、食生活の多様化や健 が、生乳生産量が減少傾 Ŗ

いで推移していることか

輸入量が増加し、

玉

人原料用の国産割合は17

19年度のプロセスチー

産の割合は年々低下して

・1%、総消費量の国産

割合は13・1%となり、

103.8 189, 476 202, 766 210, 285 217, 718 103.5 136, 399 142, 657 140, 511 98.5 131,620 99. 1 123, 388 133, 012 8, 232 9, 117 9, 645 8, 717 90.4 358, 229 101.5 321, 096 339, 165 352, 942 18. 2 15. 3 14. 2 13.6 13. 1 開魂」

の酪農地帯となってい

植地として準備され、

だけだった。

道路は幅2
以程度の1本

の造成を行い、乳牛の頭

業の承認により、牧草地 67年の開拓パイロット事

数が増えていった。

で、大木や雑木が密生し、

た。現在、県内でも有数

からの引揚者が開拓し 地区は、戦後に南洋群島

先のひとつとして、蔵王

雪深い蔵王山麓の国有林

住した。戦後、引き揚げ

入植地は標

局450 次の

転換する契機となった。

で、経営の主体を酪農へ

島には多数の日本人が移

北原尾と名

付けられた。

町が選定された。北海道

・東北出身者のためのる

王町北原尾(きたはらお)

宮城県南部の刈田郡蔵

#### 県蔵王町·北原尾開拓地 ~南洋パラオを忘れない~

戦前、

満州

(現・中国



パラオ」という とから、「北の 者が多かったこ ラオからの入植 区名はなく、パ

ほとんどな

かった。一方、 作物の収穫は

建立した慰霊碑「牛魂の 77年に北原尾支部一同が

る冷害で農

53 54 年**、** 

2年にわた

と刻まれている。隣に、

意味を込めて、

牧草だけは生育したの

碑」がある。

それぞれ1・1次、 5 浮低下した。 政府は輸出額を25年に o を示すもので、

米国は水産物などが減少 42億円(13·5%減) %減)、中国755億円 香港879億円(13·1 円(24・9%減)だった。 の順に多かった。香港、 (4・7%増)、米国5 国・地域別にみると、 り目標達成を目指す旨、 2兆円、30年に5兆円へ

総合的」食料安保確立

農業分野では、新型コロ 方針)を閣議決定した。 方針2020」(骨太の 済財政運営と改革の基本 政府は7月17日、 一経 を踏まえ、総合的に食料 が示された。 ナウイルス感染症の拡大 安全保障を確立する方針 骨太の方針は、政策や

> の実現のため、地方創生 実現が方針全体の柱。そ を同病関連に絞り込んで であるとして、記載内容 翌年度予算編成の方向性 につながる産業・社会の を推進する。地域の躍動 いる。「新たな日常」 症への対応が喫緊の課題 新型コロナウイルス感染 頃に策定される。今年は、 毎年6月 る方針を掲げた。 の国産への切替え、国産 間地域等も含めた国内生 麦・大豆等の増産、中山 品や外食・中食向け原料 食料安全保障」を確立す を実現できる「総合的な 不可欠な食料の安定供給 現場実装、食品産業と産 農林水産業の技術開発や 産基盤の強化、スマート 具体策として、加工食

にかけて予 25 日 り。 体の主な行 る、開拓組織 8月後半 北海 **道チクレン農** 事は次のとお 織及び関係団 定されてい から10月下旬

地の連携・協業、

点の整備等によるフード

全開連·

事業所) 人事 并智丞(東日 **/**月31日付) 29日 全開連事業概況説 明会(東京会場) 議・理事会・監事会

ご希 本紙 望の方はお知らせ下さい。 は無償で提供しています。

東北部)と同様、

南洋群

各島から、1946 (昭

手作業で開 件の中、笹

和21) 年3月に

48年に北原

尾開拓農協を 墾を進めた。 小屋を建て、 厳しい自然多

継いだ北原尾農事組合が

農協(72年解散)を引き

11年に建立したもので、

念碑が建っている。開拓

集落の入り口に開拓記

第1陣、5月に

設立。焼き畑で大豆、小

麦、バレイショなどを栽

第2陣が入植。

培したが、

収量は少なか

定着した。 最終的に32戸が

った。熱帯の気候に慣れ

ラオ、ロタ、テニアンか は「昭和二十一年春、パ 碑銘は「開魂」。碑文に

入植当時、

た入植者に

地の農業は

苦難の連続だ とって、高冷

を忘れないようにこの地 ら入植する。南洋パラオ

を『北原尾』と命名する」

国)、ロタ、テニアンの

ラオ(現・パラオ共和

入植者は当

とのマーケット調査によ 国への牛肉輸出や品目ご は同日の記者会見で、中 ている。江藤拓農水大臣 と引き上げる目標を掲げ

骨太の方針を閣議決定

は、同感染症拡大の影響

農林水産業について

小企業、観光等)を図る。 活性化(農林水産業、

出制限などに対応するた

強化し、食料自給率・

国内生産基盤を維持

による国際的な食料の輸

輸出拡大などが盛り込ま 化、農林水産物・食品の サプライチェーンの強

開 拓 組織の

9 月 ミート株主総会 協連通常総会 ㈱北海道チクレン

1日 全開連監事会・理

事会

全日本開拓者連盟

30日 全開連理事会 中央常任委員会

1~2日 全開連決算監

28日 全国開拓振興協会 理事会 査・監事会 全開連役員推薦会

#### レタスの購入量が増加傾向 08~18年調査

#### キャベツは安定して推移

はレタスなどが横ばい傾 直近10年間で約17万½増 冋で推移している。 **給量に占める国産割合は** 、増加傾向で推移。供 シ(前年比6・1%増)。 国内供給量は約156 【キャベツ】 (前年比2 加した。 74円と上昇している。 【ハクサイ】

輸入量は12年から横ばい 8%増)だった。一方、 天候不順 減っているが、購入金額 %減)。14年をピークに 量は2613% (2・3 1・6万%と5倍超に増 産割合はほぼ100%だ 一人当たり年間購入数 前年から輸入量が約 g **図 1** 7,000 <del>−</del>

家庭で手軽に利用できる は直近10年で増加傾向。

鍋つゆの普及が一因とみ

万少(2・6%増)。 たことなどが要因となっ 国内供給量は約28・0

く低下した(図)。暖冬 低温などで生育が遅れて で野菜の育ちが良く出荷 た前年に比べ価格が低下 ~2月に価格が高騰し 格が上昇したことが影響 ら1・2%上昇した。肥 は101・9で、前年か 料、飼料、農薬などの価 したとみられる。 5%上昇した。 農業交易条件指数(農 農業生産資材価格指数 減している。

量が増加したことから、

は、 たが、 15年から上昇が続いてい 変化を示す。上昇は経営 計算) は107・3で、 産物価格指数/農業生産 資材価格指数×100で ※農業交易条件指数と 生産者の収益環境の 低下に転じた。 向が続く。 【レタス】

**人量)に対する国産割合** 

加している。また、国内

る

(図1)。千切りキャ

5,900 5,899

100%

(国内生産量十輸

ベツなどの加工品も人気

年間購入金額は10

5,82

28度以上は

「厳重警戒」、

る、などの知 集、密接、

る。25度以上は「警戒」、 く地域が多くなってい することが重要となる。 スクを外すなどの対応を

31度超えの日に注意 全国的に高温の日が続

保つ、マスクを着用す

手洗い、3密(密

で温度を調整するなど工 上昇するため、エアコン

密閉)を避け

人と人との距離を十分

う。室内の気温は換気で も、換気を定期的に行

八当たり年間購入額が増

ず安定した量が売れてい

量は増え、8~18年で

多く、

販売価格に関わら

キャベツの年間購入数量と購入金額の推移 円

、ツで前年より国内生産

%減)と、野菜の中で最も

量は5711% (1・6

6,145 5,805

人当たり年間購入数

万少(2・5%増)。国 国内供給量は約90・6

6,000

5,000

4,000

3,000

2,000

1,000

られている。 【ホウレンソウ】

玉 傾向が続いた。

米は131・1で、 O %増)と前年から増えた 約800円と前年から増 った。一方、購入金額は が続いている。8年と比 量は1025% (7・4 べて18・5%と大きく減 一人当たり年間購入数 直近10年は減少傾向

12年から横ばい傾向。08 が、直近3年は横ばい傾 0・5%増と微増だった た。国産割合は前年から 年と比べ10・4%増加し 万少(1・2%増)で、 国内供給量は約60・3

野菜の月別価格指数の推移(直近3年間

増加で下落したこと の、野菜が出荷量の どは上昇したもの なった。果実・米な 指数は109・3と

前年から1・7%上昇し

台風被害で出荷が減

果実は116・4で、

っている。

ツ、ハクサイなどで下が

したため。ネギ、キャベ

が影響した。

110 100

前年 当年 12月 1月

菜は94・8で、前年

類別でみると、野

りナシの価格が上がった

から11・9%と大き

遅れブドウが値上がりし こと、天候不順で発育が

環境の改善を意味する

などの価格低下により前 農産物価格指数は、野菜

が続いている。

全体の農産物価格

産者への負担が重い状況 数は1・2%上昇し、生 た。農業生産資材価格指

した「19年農業物価指数」 (15年基準) によると、

農水省がこのほど公表

年から2・2%低下し

物価格指数

が 2.2

%低下

19 年

野菜の12%下落が影響

#### 1,000 800 2,074 2,108 1.98 600 200 16 17 18年 農畜産業振興機構資料から

の熱中

症

に

注意

31度を超える

ている際には強い負荷が

かかる作業は避ける。

冷房施設でも換気を 室内での作業時など、

険」と基準

も、気温をで

こまめにチェ 地域であって が決まってい る場合は「危

涼しい

ックし十分

に注意する。

冷房をかけている場所で

新しい生活様式を意識

菜の生産・流通・消費動

」の調査結果を公表し

た。それによると、キャ

のほど、18年の「指定野

急増し、前年から142 により中国からの輸入が

1,000

800

600

400

200

1%と大きく増加した。

農畜産業振興機構はこ

10 11 12 13 14 15 16 18年 図2 レタスの年間購入数量と購入金額の推移 g 2,500 - 全額 2,000 2,001 1,956 1,926 22 1 855 1,500 1,000 500 17%の増加 12 13 14 15 09 10 11 るため、可能な時にはマ 農水省は農作業中の熱中 策の兼ね合いが重要とな イルスの対策と熱中症対 症の注意喚起を行ってい 農作業中 暑さがピークとなり、 「新しい生活様式」での予防行動 今年は新型コロナウ

加。8年と比べ約11%減 産割合は前年と同じだ 少し、輸入の冷凍ホウレ が、輸入量が15・6%増 ンソウの普及などで低下 られる。購入金額は直近 加熱調理やサラダでの利 増えた。販売価格に関係 10年では増加傾向だが、 用が進んでいるためとみ %増)と、8年から17% 量は2108% 18年は低下している。 15~16年をピークに17 なく増加傾向 【ダイコン】 図2  $\widehat{\overset{1}{\cdot}}_{6}$ 

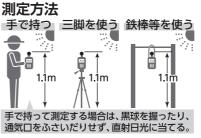
値段により購入数量が増 加しており、直近10年で 平均して700円前後。 り、減少傾向が続いた。 が3倍以上増加したこと 16・9%減少した。 も影響し微減。8年から 国産割合は前年から輸入 8年と比べて16・1%減 万少(1・5%増)で、 国内供給量は約135

農水省がこのほど公表

で、前年から370珍(3 付面積は1万3800%

人当たり年間購入数 %減)。14年以降減少傾 傾向にあった。 年で増加傾向だが、 して、購入金額は直近10 %と大きく減少した。対 向で、8年と比べ21・1 量は3926% (9・5 上がると購入量が減る 人当たり年間購入数

### 推奨する屋外での暑さ指数の



ポイント ■黒球を日射に当てる(黒球が影にならない) ■地上から1.1m程度の高さで測定

■壁等の近くを避ける

る場合には、 以上の十分な 要となる。 ため、適宜外 熱中症のリス れつつ、マス 新しい生活様

ようにする。

わないなど、無理のない 体調が悪い日は作業を行 や健康チェックを行い、 夫する。日頃の体温測定

して作業を行

の)」を使う(図)など

度や日射などを測るも

(熱中症予防のため、湿 屋外では「暑さ指数計

億8200万本で、前年 切り花類の出荷量は34 ■値が安定してから(10分程度)測定値を読み取る ※屋外の計測は熱中症の危険性が高まるため、事前に水分 う。休憩時に 愛知20%、 距離が取れる すことが重 クを上げる クの着用は 式を取り入 ようにする 離が取れる! イスクは外 人と2 次

場合には外す にも、人と距

は無理をせず、水分・塩 工夫し、気温が高い時に

マスクをし

分補給などに努める。

岡9%、 県別では、 める。 0万本(6%)減少した。 4県で全体 が9%など 23 分 (7%) 2120万 8520万 の順で高い 万本(4%) 作付面積は 〇バラは出 ○ リンド Щ 愛知18%、静 北海道・兵庫 )減少。作付 本で、370 ウは出荷量が 形・福岡7% )減少した。 3022次で、 本で、148 出荷量が2億 の約6割を占 で多く、上位 2400万本で、630 県で約4割を占める。 作付面積は693%で、 増加している。 (8%)、280万本(1 れ出荷量が870万本 は、埼玉20%、高知11%、 20診(3%)減少。 県別で 万本(5%)減少した。 %)、280万本 (5%) ルストロメリアはそれぞ 新潟9%の順で、上位3 ○切り葉、切り枝、ア 鉢もの類の出荷量は2

%、山形8%の順で多く、 面積は42 上位3県で全体の8割を (2%) 減: 〇ユリは 掌5 57%、秋田15 少した。県別 2 診で、10 診 出荷量が1億 億500万鉢で、460 割を占める。 %、岐阜・静岡7%の順 診(3%)減少した。 県別 面積は1549%で、56 では、愛知26%、埼玉10 万鉢(2%)減少。収穫 で高く、上位4県で約5

バラは6%下げ 産から5200万本(1 %) 減少した (図) 。作

19年産

切り花類の

出荷1%減

と、多くの品目で出荷量 産者の高齢化などが影響 いる。いずれの品目も生 面積及び出荷量」による していることがうかがえ した「19年産花きの作付 %) 減少した。 少。県別では、長野21%、 1 診で、19診 (7%) 荷量が2億2270万本 減った。 作付面積は27 で、1140万本(5%) ○カーネーションは出 減

切り花類の面積・出荷量(全国) 37.0 34.8 30 20 (于ha 14.5 15 13.8 作付面積 19年産 占める。 では、

#### 補強や各部点検など事前確認を ハウス栽培の台風対策

全国で大規模な災害が頻発してい る。特に、台風や大雨による被害は深 刻なものであり、少しでも被害を軽減 するため対策の必要性が高まってい る。ハウス栽培における台風対策を中 心に改めて確認したい。

#### 事前準備

平時に、自身の所有するハウスが耐 えられる風速を調べておく。パイプハ ウスは補強を行うことで、耐風性を高 めることができる。特に、過去に被害 を受けた場合は、タイバーやX型斜材 の設置による補強(下図)を行ってお く。パイプ径が太いほど耐風性は高く なる。

ハウスを新設する際は、周囲の地形 や風向き、過去の気象データなどを踏

まえた上で、耐候性ハウスの設置も検 討する。

各部の点検も徹底する。見るべき箇 所は、谷樋や柱の腐食やサビ、留め金 具のゆるみ、被覆のゆるみなど。また、 作付けしていない場合は、被覆資材を 外しておく。被覆資材を張り替える時 は、併せてパイプの不調も点検すると 効率的。

風が吹き込むと、大きな被害を生じ る。スプリングやパッカーでサイドビ ニールを留めてばたつきを防ぐ。

周辺では、雨水の滞留やハウス内へ の水の侵入を防ぐために地面を整備す る。排水路がゴミでふさがれていない か、燃料タンクやガスボンべがしっか りと固定されているかも確認してお

く。

いこと。

める。

#### 表 台風前のチェックリスト

台風接近時には、 ① 最新の気象情報、警報、注意報を常にチェックしていますか。 農水省が作成した 「チェックシート」 ② ハウス周辺から飛来が予想されるものを片付けましたか。 (右表) を活用し、 ③ 燃料タンクやガスボンベ等はしっかりと固定されていますか。 ④ 施設周辺の排水溝やハウスの谷樋、縦樋等のゴミは取り除きまし 対策で不十分な箇所 たか。 がないか改めて確認 ⑤ タンクにかん水用水を貯水しましたか。 する。台風通過中に 自動換気(天窓、側窓)・遮光カーテンの手動開閉の操作器具や 6 足場は準備できていますか。 無理な作業は行わな (発電機を持っている場合) 非常用発電機を養液栽培装置、環境制御装置に接続しましたか。 事後対応 ⑧ 被覆資材のたるみや破れはありませんか 浸水などにあった 換気部(サイド部、谷部)、被覆材の隙間等の風の吹き込み口と なる箇所はありませんか。 ほ場は、排水ポンプ (10) ハウスバンド、被覆材の留め金具に緩みはありませんか。 によるくみ上げなど ブレースや筋かいの留め金具に緩みはありませんか。 で速やかな排水に努 ② 基礎部、接続部分、谷桶・柱に腐食・サビはありませんか。 13 準備していた斜材を設置するなど応急的な補強はしましたか。 4 ハウスの出入り口の補強(かんぬき等)や戸締まりはしましたか。 台風通過後にハウ

(換気扇のあるハウス)

図・表ともに農水省の資料より

ス各部を点検し、必 換気扇をまわして排気し、ハウス内を減圧していますか。 要に応じて補修す

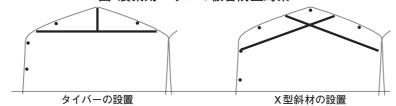
る。構造体のボルト、筋かいを締め直 す。筋かいは端からきつく締めるので はなく、ハウス全体が均等に緊張する よう締めつける。

支柱、防虫ネットなどの資材や栽培 施設は異常がないかできる限り早期に 点検・修復を行い、環境制御装置や電 照・補光関連設備(電球、タイマー等) については、速やかに作動状況の点検 を行う。

通過後は、強い日射しによりハウス 内温度が急上昇する。高温障害が生じ やすいので、フィルム巻き上げなど換 気操作を行う。

停電が発生した場合は、速やかに手 動または非常用電源の作動による換気 などで高温防止対策を行う。作物のし おれが予想される時も、速やかに手動 または非常用電源を利用してかん水を 行う。

#### 図 農業用ハウスの被害防止対策



#### 寄せ付けない環境づくり大切 秋のイノシシ・シカ被害に警戒

鳥獣被害は営農意欲の減退、耕作放 棄・離農者の増加、車両との衝突事故 など被害額として数字に表れる以上に 農村に影響を及ぼしている。

特に秋は、イノシシやシカの繁殖時 期であり、エサを狙って農村に出没す ることが多くなる。餌付けしてしまう と、頭数が増えて翌年以降の被害が大 きくなる。これら野生動物の被害防止 に重要な点をまとめた。

#### 動物ごとの特徴

イノシシは農作物の食害だけでな く、耕地を掘り起こす、土手・水路を くずすなど土地への被害を及ぼす。臆 病で警戒心が強く、パニックになった 時には人間に向かってくるため、注意 が必要である。

シカは、特定の縄張りを持たない。 2m程度の柵であれば飛び越せるが、 通常は柵の下から潜り込む。

#### 寄せ付けない環境づくり

農村へ定着しないように環境づくり をする必要がある。農地に接した草む らやヤブを刈り払い、野生動物の隠れ 場所をなくす。雑草が生い茂った耕作 放棄地も侵入しやすい。農地との間に、 見通しの良い緩衝地帯を設けることで 近付きにくくなる。

廃棄した野菜や収穫しない果実は、 そのまま放置しておかない。コンポス ト容器での堆肥化や農地に埋めるなど して処理する。カキやクリなどの放任

19年産キウイフルーツ 収穫量1%増加

農水省はこのほど、「19年産キウイ フルーツの結果樹面積、収穫量及び出 荷量」を公表した。収穫量は、大幅な 減少となった前年産に比べ、1%増加 した。

結果樹面積は、18年産に比べ50ha

(3%) 減少して1900ha となった。10 a当たり収量は、天候不順で大きく減 少した18年産より改善し、50kg(4%) 上回る1330kgとなった。

収穫量は300 t (1%) 増の2万5300 t、出荷量は700 t (3%)増の2万2500 t となっている。都道府県別の収穫量 割合は、愛媛が24%、福岡が21%、和 歌山が12%となっており、この3県で 全国の約6割を占めている。

果樹があれば除去も検討する。

侵入防止柵は、効果が高まるように 設置する。ワイヤーメッシュ柵は、上 部を少し外側に折り返すと侵入されに くくなる。電気柵は、電線に雑草など が触れて漏電しないよう、日頃からメ ンテナンスを欠かさないことが大切。

また、人への感電を防ぐため注意表示 を設けるなど、法令を守って使用しな ければならない。トタン板は、板と板 の間や接地面をしっかり固定する。

これらの対策は、農家ごとに個別で 行うよりも、地域全体で連携して実施 することが重要となる。

#### 農水省、土壌くん蒸剤の適正使用求める 被覆徹底で周辺住民への被害防止

農水省は、土壌くん蒸剤として使 われている「クロルピクリン剤」の 適正使用について注意を呼びかけて

同省は昨年、使用実態や現場での 指導方法について全国調査を行った ところ、ほとんどの都道府県におい て、主に根菜類、花き類・観葉植物 で使用されていた。また、9割以上 の産地で使用時の完全被覆が実施さ れていたが、一部では、「近くに住宅 がない」「栽培面積が広い」「コス 実施されていないケースもあった。

場での適正な取り扱いを徹底するこで被覆が行える機材の活用」などがさら とが必要。改めて使用上の注意点をなるリスク低減に効果があると期待で 確認したい。

同剤を使用する際は、近くに住宅地 がない場合でも被覆をしなければなら ない。自身だけでなく、周辺で被覆せ ずに使用する農業者がいたら注意す る。農業者自身が危険意識を持つこと が重要である。特に周辺に住宅地があ る場合、被害が生じないよう以下の取 り組みを行う。

徹底する。使用目的や日時も知らせて おく。②被覆をしっかり行う。これま で被覆をしていた場合も、その方法が トがかかる」などの理由で、被覆が正しいかなど改めて基本を徹底する。 ③被害防止のため、追加で対策を行う。 同剤は刺激性があることから、農「風向きや気温を考慮した薬剤処理の 業者自身だけでなく周辺住民にも被 徹底」「厚さ0.03mm以上や薬剤を通 害が生じることがないよう、生産現しにくい資材の活用」「処理と同時に

きる。

①周辺住民への説明や事前の周知を

#### 北海道立総合研究機構酪農試験場

#### 分娩後体重上限650kg、一乳期高栄養で 初産次乳量高める飼養管理法

初産牛は、乳量が低くなりがちであ る。初産次の乳量向上のため、疾病や 事故などが起きない水準での効率的な 飼養管理法の確立が求められている。

(地独)北海道立総合研究機構酪農 試験場は、初産牛の乳量を高めるとと もに、栄養状態に起因する疾病や事故 を低減するための適正な分娩後体重及 び泌乳期の飼料養分濃度を明らかにし た。

#### 1 初産分娩後の目標体重

初産分娩後体重と初産次の分娩状況 や乳生産性の関係を検討し、初産分娩 後の適正な体重を設定した。これには、 11~15年の全道牛群検定成績(初産分

図 初産分娩後体重と初産次の乳量及び P/F 比異常発生率の関係 10,000 30 **\*\*\*\*\*\*** 24 9,000 18 異 8,000 **常発**: 12 7,000 □ 305日到量 生率( kg ¥ P/F H 里堂登生率 6,000 6 0 5.000 450 475 500 525 550 575 600 625 650 675 700 450 474 499 524 549 574 599 624 649 674 699 初産分娩後体重区分(kg)

娩月齢24ヵ月以下、分娩後30日以内に 体重記録のある初産牛約8万頭)と合 わせて同試験場産の初産牛172頭を用 いた。

その結果、初産分娩月齢が24ヵ月以 下の場合、初産分娩後体重が大きいほ ど初産次の305日乳量は高まるものの、 体重650kg以上では乳量の増加程度は 小さくなった(図)。

また、分娩後体重が大きくなると乳 タンパク質率/乳脂肪率(P/F)比 の異常発生率が高まるが、体重550kg以 上でほぼ一定値に安定した。分娩後体 重650kg以上では、難産・死産率が高く、 初産分娩前の過肥{BCS(ボディコン

> ディションスコア) 3.75以上} 、初産分 娩前後の乾物摂取量 低下がみられた。

> 以上により、初産 分娩後体重の増加は 乳量向上に有効だと 示されたが、その上 限は650kgが目安と 考えられる。

#### 表 飼料の養分濃度1及び初産分娩後体重が初産次の305日乳生産に及ぼす影響

処理区	対照区			高栄養区			
体重区分		549kg 以下	550~599kg	600~649kg	549kg 以下	550~599kg	600~649kg
実乳量	(kg)	6, 957 <sup>b</sup>	7, 127 <sup>b</sup>	7, 752 <sup>ab</sup>	7,777 <sup>a</sup>	7, 796 <sup>a</sup>	8, 413 <sup>a</sup>
4%乳脂補正乳量	(kg)	7, 169 <sup>c</sup>	7, 416 bc	8, 098 b	7,942 ab	8, 245 a	8, 541 a
乳脂肪率	(%)	4. 22	4. 28	4. 32	4. 15	4.39	4.11
乳タンパク質率	(%)	3. 38	3. 36	3. 39	3. 34	3. 39	3. 29
乾物摂取量(kg/日)	分娩後0~149日	15. 3 b	16.0 b	17.5 a	15. 4 <sup>b</sup>	15. 7 <sup>b</sup>	16. 5 ab
	分娩後150~305日	15.8 c	17.0 bc	18. 5 a	18. 5 ab	18.9 a	20.8 a
TDN 充足率2 (%)	分娩後0~149日	82	82	83	81	80	81
	分娩後150~305日	93 b	96 b	99 ab	103 ab	101 ab	105 <sup>a</sup>
BCS	分娩7~14日前	3. 38 b	3. 46 ab	3. 63 a	3. 36 b	3. 48 ab	3. 48 ab
	分娩後305日	3.04	3.05	3. 17	3. 19	3. 25	3. 28
空胎日数(日)		98	89	98	106	95	91
分娩後150日以内受胎率(%)		78(14/18)	79 (23/29)	78(14/18)	64(14/22)	87 (20/23)	91(10/11)

異符号間に有意差あり(abc; p<0.05)、TDN:可消化養分総量、BCS:ボディコンディションスコア、受胎率の()内は受胎頭数/供試頭数 !飼料の養分濃度(乾物中):【対照区】分娩~分娩後149日目:TDN74%, CP16%、分娩後150日目~乾乳:TDN69%, CP14%、 【高栄養区】分娩~乾乳; TDN74%. CP16%

図・表ともに(地独)北海道立総合研究機構酪農試験場ホームページより

#### 2 初産泌乳期の栄養水準

同試験場の初産牛111頭を供試し、初 産分娩後体重に応じた適正な飼料養分 濃度を検討。対照区 {65頭、初産分娩 ~分娩後149日:TDN(可消化養分総 量) 74%、CP(粗タンパク質) 16%、 分娩後150日~乾乳:TDN69%、CP 14% と、高栄養区(56頭、初産分娩 ~乾乳:TDN74%、CP16%)とし た。各区をさらに初産分娩後体重ごと に分けて調査を行った。

初産分娩後体重650kg未満の場合、高 栄養区は、対照区に比べ4%乳脂補正 乳量が平均680kg高かった。また、泌乳 後期のTDN充足率及び乾乳前のBC Sは適正範囲だった(表)。このこと から、初産牛では初産泌乳期間中に飼 料の養分濃度を変えない「一乳期高栄 養飼養」を行うことで、乳量が向上す るとされた。

初産分娩後体重549kg以下は、高栄養 区で泌乳後期の体重増加量が最も大き くなった。549kg以下だと、初産泌乳期 の成長に要する養分量が大きいと考え られ、体重は550kg以上が望ましいとさ れたが、体重が小さい場合は「一乳期 高栄養飼養」によって増体の向上も期 待できる。

さらに、現地酪農場(十勝管内1戸、 根室管内2戸)にて、「一乳期高栄養 飼養」の効果を検証。その結果、初産 分娩後体重650kg未満を保つことによ り、分娩後体重が大きいほど乳量が高 いこと、分娩後のエネルギーバランス の悪化や初産乾乳前の過肥を招くこと なく高い初産次乳量を得られることが 確認された。

同試験場は、この管理法の利用上の 留意点として、初産分娩前のBCSを 適切に管理することを挙げている。

#### 自作機器でトラクター走行アシスト

P/F 比異常:初回検定時の乳タンパク質率/乳脂肪率(P/F)比 0.7 以下

#### 花平ホルスタイン改良同志会が研修会

岩手県滝沢市の花平ホルスタイン改 良同志会(鈴木稔会長)は7月7日、 岩手花平農協内で「GNSSガイダン ス研修会」を開催。生産者ら10数名が 参加した。講師に農研機構東北農業研 究センターの長坂善禎氏を招き、スマ

ート農業技術への理解を深めた。

紹介されたのは、GNSS(人工衛 星を用いた誤差の小さい位置特定方 法)を利用し、カーナビのようにトラ クターの経路を画面上に表示するとい うもの。牧草地での施肥や牧草の反転

るため、作業の効率化につながる。さ らに、経験の浅い運転者でも、熟練者 に近い作業精度が得られる。

研修会では、すでに組み立てられた 市販品を用いるのではなく、GNSS 受信機やタブレットなどの部品を用意 して機器を自作。コストを抑え、比較 的導入しやすくした。長坂氏は、「ス マート農業技術は様々なものがあり、 使えそうなものを判断するのは難しい と思う。このような研修を機械装備導 入の判断材料にして欲しい」と語った。

参加者は、説明を受けながら自分で



写真提供:全開連岩手事業所

部品を組み立てて、ガイダンスソフト などを設定後、各自持ち込んだトラク ターに取り付けた(写真)。実際に駐 車場でシステムを使いながら走行し、 感触を確認した。

#### <sup>竈</sup>「継承うまくいかず」35% 経営理念合わないなどで

日本全薬工業(株)の運営するWE Bマガジン「どっこいしょニッポン」 は、事業継承に関する実態調査の結果 を公表した。インターネットで18歳以 上65歳以下の畜産農家を対象に行った もので、180名から回答があった。親子 だからこそ存在する確執や感情が障壁 イスもあった。 になっていることがうかがえた。

った(スムーズにいきそう)」と答えの温度差を感じた」(酪農・肉牛)、 た人は65%で、残りの35%はスムーズ にいっていないと回答している。

スムーズにいかない理由として最もれない」(酪農)などが挙げられ、 多く挙げられたのは、「経営理念が合 技術導入や経営方針で対立すること

つまでも子供扱いする」(49票)、 「完全に経営権を渡さない」(48票) の順となった。

継承元の意見では、「搾乳の仕方、 金銭の感覚、継承者の責任感のなさ に不安を感じる」(酪農)などがあ った。一方、スムーズにいった継承 元からは、「家族経営協定を定めた り、第三者の目を入れて話を進める ことも大事」(酪農)というアドバ

継承者からは、「受精卵移植を導 事業継承について、「スムーズにい 入しようとした時に否定され、世代

「人手の重要性やICT(情報通信 技術)活用の利点を中々理解してく わない」(65票)だった。次いで、「いが多い傾向にあった。

#### 換気・送風で快適な環境を 養豚の暑熱対策

夏の暑さが最も厳しい時期を迎えて いる。豚は、汗をかいて体温を調節す ることができず、体が厚い皮下脂肪に 覆われていることもあり、特に暑さに 弱い。豚舎環境と飼養管理の両方から 暑熱対策を講じる必要がある。

しで光を遮る他、屋根への散水や断熱 塗料の塗布などが有効である。特に種 豚は熱中症にかかりやすいため、涼し い環境を整えることが重要。換気や送 風を念頭に置き、通風を妨げるような

障害物は取り除いておく。空気が一方 向に流れるような窓の開け方とする。 ただし、哺乳豚・離乳豚には直接風を 当てないようにする。

冷水の散水や噴霧は熱放散に有効だ が、湿度が上昇し過ぎないよう日中の み実施する。繁殖豚の首元から首筋に かけて、頭上から水滴を落とす「ドリ ップ滴下(ドリップクーリング)」は 体感温度低下に効果がある。水を入れ 豚舎では、グリーンカーテンやひさ たペットボトルを凍らせて頭上に設置 する方法が簡易に実施できる。

> 飼養管理面では、新鮮な水の供給、 密飼いを避ける、涼しい時間帯の飼料 給与、飼料の品質劣化など基本的な事 項を徹底する。

#### 群馬県畜産試験場

#### ゲノミック評価高い個体が成績良好

#### 黒毛和種 肥育効率化に利用可能

肥育牛は両親の能力が枝肉重量などの肉質成績にとって重要だが、能力を判断する指標の1つである育種価(BL UP法)は判明するまでに時間がかかり、また、子牛の期待育種価は両親の育種価成績の平均値から推測するため、予測と結果が一致しないこともある。

一方、ゲノミック評価は各個体のDNAを検査し、そのわずかな違いを分析し、遺伝的能力を推定しているため、生後早い段階で能力の推定が可能になるなど育種価の短所を補っているものの、評価がどのように飼養成績に活かせるのかはまだ不明な点が多い。

そこで、群馬県畜産試験場は、(一社)家畜改良事業団の協力のもと、子牛の育成段階のゲノミック評価の結果がどのように肥育成績に活かせるのかを検証する試験を行った。その結果、 枝肉重量のゲノミック評価値が高い牛は肥育期間を短縮できることを明らかにした。

【方法】

2017年5月に育成段階でゲノミック評価 { (一社) 家畜改良事業団が実施}を行った9ヵ月齢の黒毛和種去勢牛8頭を供試した。なお、同一種雄牛で結果を分析するため、試験当時県内の市場で取引頭数の最も多かった「美津照重」の産子を用いた。枝肉重量のゲノミック評価値が「H」及び「A」と高かった「高評価区」に3頭(Hは基準集団における順位が上位1/10以上のもの、Aは上位1/4以上、1/10未満のものをいう)、「C」及び「D」と低かった「低評価区」に5頭を振り分けて実施した。

両区とも同じ市販の飼料を給与し、 肥育前期(9~12ヵ月齢)の濃厚飼料は4~5.5kg/日、中期(13~14ヵ月齢)は6~8kg/日の定量給与とした。中期は前期と後期の飼料を混ぜ、徐々に後期飼料を増やした。15ヵ月齢以降は全て後期飼料とし、17ヵ月齢以降は飽食とした。粗飼料は9~12ヵ月齢は輸入チモシー乾草を与え、13ヵ月齢から 稲わらの割合を増やしていき、14ヵ月齢からは稲わらのみを給与した。それぞれ4cmほどにカットし、全期間飽食とした。 試験期間は2017年6月~2019年2月とし、全頭

28ヵ月齢でと畜した。

#### 【結果】

枝肉重量と脂肪交雑で 高評価区が有意に上回っ た(表)ほか、飼料摂取 量や日増体量も高かっ た。また、試験牛の体重 から歩留まりを63%で試 算した高評価区の枝肉重 量は24ヵ月齢時点で512 kgとなり、日格協の当時 (2018年1~12月)の全 国における平均枝肉重量

を8kg上回った。ゲノミック評価値が 高い個体では肥育期間を短縮しても十 分な重量が確保できることが確認でき た。

また、枝肉格付成績と育成時のゲノミック評価値には枝肉重量(図)、BMS No、胸最長筋面積、ばらの厚さ、皮下脂肪の厚さで相関関係がみられた。

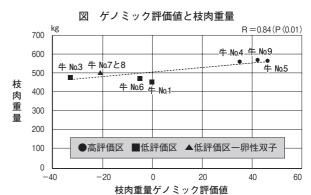
枝肉重量のゲノミック評価値が高い

#### 表 枝肉格付成績

項目	高評価区	低評価区
枝肉重量 (kg)	571. 7 A	481.4 B
胸最長筋面積 (cm²)	76. 7	67. 2
ばらの厚さ (cm)	9. 1	7. 4
皮下脂肪の厚さ(cm)	3. 7	2. 9
步留基準値	75. 0	74. 6
脂肪交雑(BMS No.)	9.3 A	7.6 B
肉 色 (BCS No.)	3. 7	3. 4
格付	A 5:3頭	A5:3頭
1 1 1	A 3 : 3 頭	A 4:2頭

※異符号間に有意差あり A, B:P<0.01

2020年(令和2年)8月15日



表・図ともに群馬県畜産試験場の資料から

個体は発育が良いため、群編成などに 応用することにより、肥育期間の短縮 や効率的な出荷管理に役立てることが できる。

なお、同試験場は留意点として、ゲ ノミック評価は解析ごとに数値が変動 するので、同じ時期に評価を行ったも ので比較することを挙げている。

【出典: 肉用牛研究会報, No.108(2020)】

#### 牛への声かけ・安全靴の使用を 作業中の事故に要注意

(独)家畜改良センターはこのほど、「畜産関係労働災害事例集」を公表した。作業中にひそむ様々な危険や事故を18の類型に分けて分析し、原因と対策をまとめたもの。その中から、肉用牛の生産現場で発生した事故の原因・対策を紹介する。

同センターは安全訓を作り、①保護 具を面倒と思わない②確認は人任せに しない③危ないと気づいたらすぐ直す ④共同作業は声をかけ合う一などを常 に念頭に置き、作業に取り組むことを 推奨している。

#### ▼保護具の種類と装着

衛生用や防塵用などのマスク、切り

傷ややけどなどの防止のための保護手袋、重作業の対策や踏抜き防止のための安全靴などの着用を徹底することが重要。作業内容により装着しなければならない保護具が法令等で定められている。決まっている作業以外でも、危険がある時には保護具を装備する。

#### ▼牛の行動に注意・安全装備徹底を

ケース1は、肥育牛の出荷作業で、920kgの肥育牛に繋いでいたロープを引き、誘導柵に移動させようとしたところ、牛が急に突進し、ロープと柵の鉄柱の間に右手親指が挟まれて骨折などのケガを負い、10日間の休業が必要となった事故。

#### 消毒や疾病発生時の協力義務化改正家畜伝染病予防法が施行

改正家畜伝染病予防法が7月1日から施行された。生産者の取り組みでは、 以前よりも義務がより強化されたものがあるため紹介する。特定家畜伝染病 (肉用牛では、口蹄疫・牛疫・牛肺疫)の侵入・まん延を防止するための大きな変更点としては、生産者をはじめ畜

具体的には、①衛生管理区域に入る

産関係者の義務がより強化された。

または汚染された畜舎や倉 庫から出る人・物だけでは なく、どちらも、出入りす

る人・物の消毒が義務化②疾病発生時の県や地域への協力の強制力が強化③ 伝染病発生時、移動制限や交通制限が 更に強化④研修などを通して家畜伝染 病の正しい知識を積極的に習得することーなどを求めている。

伝染力の強い疾病のまん延を防ぐため、より高い危機意識を持って対策に取り組むことが重要となる。

原因は、突然牛が突進した際に、 止めようととっさにロープを強く 握ったことだった。対策として、 出荷作業など牛にとって非日常的 な状況では、人に慣れている牛で も興奮して予期せぬ行動を取るこ とがあるので、十分注意して作業 すること。牛を引くロープを扱う 時には、いつ暴れだしても大丈夫 なよう、いつでも手から離せる状

ケース2は、5頭の成牛をスタンチョンに保定し後方から直腸検温しようとした際、不意に牛が右後ろ脚を蹴り上げ、右ひざの内側を2回蹴られた事故。

態にしておく。

原因は、気性が荒い牛にも関わらず、 当日落ち着いていたため、油断して声 かけせずに作業を行ったこと。対策に は、検温や注射などの牛が嫌がる作業 では、声かけや牛に触るなどしながら、 作業をする牛だけでなく、隣や近くに いる牛にも注意を払うことが重要とな る(写真)。

#### ▼ローダー作業時は重心の高さに注意

ケース3は、乾草ロールをほぐす時、スキッドステアローダーで持ち上げたロールがグラップルフォークから外れてフロントガラスに当たり、割れたガラスの破片が運転者の顔と体に当たって眼などに外傷を負った事故。

原因は、牧草ロールがしっかり掴め ていなかったこと・アームを上昇させ

#### 牛にいきなり触り事故になった事例



写真提供: (独) 家畜改良センター

て重心が高い状態で重いロールを揺すったことだった。対策は、グラップルフォークに限らず、アームを高く上げて重いものを扱う時には、ダンプやすくい動作など急な操作を行わないこと。また、ロールのほぐし作業は地上に置いてアームを低い位置で操作することが有効となる。

この他、「ケガをしやすい構造の子 牛の哺乳バケツを使用し回収時にケガ をした事故」、「保定・手袋の装備が 不十分で、削蹄中の牛の急な動きで削 蹄器具で手を痛めた事故」、「スタンチョンの牛の首が入っているところに手 を入れケガをした事故」、「鉱塩の運搬 作業で段ボールの底面を持たず、安全 靴を履いていなかったため底が抜けて 足にケガをした」などが発生している。

いずれの事故も、牛への声かけ、動きに注意を払った作業、保護具の使用などで防げるものであるため、よく注意し安全対策を講じることが重要とな

#### 华技交

コロナで例年の 行楽需要見込め ず、もちあいか

今年の梅雨は長期化し、全国的に記 録的な大雨に見舞われた。7月は外食 など業務用需要の回復ペースが鈍かっ たものの、和牛及び交雑種の相場が上 昇した。

【乳去勢】7月の東京市場乳牛去勢 B2の税込み平均枝肉単価(速報値、 以下同じ)は923円(前年同月比91%) となり、前月に比べ24円下げた。

農畜産業振興機構の需給予測による と、8月の乳用種の全国出荷頭数は2 万6100頭 (95%) と減少を見込んでい る。

【F₁去勢】7月の東京市場の交雑種 (F<sub>1</sub>)去勢税込み平均枝肉単価は、B3 が1329円(前年同月比81%)、B2は 1153円 (76%) となった。前月に比べ それぞれ147円、116円上げた。出荷頭 数の減少もあり、前月の低迷から上向 き、じり高傾向となった。

同機構は8月の交雑種の全国出荷頭 数を1万7100頭(97%)と、減少基調 が続くと予測している。

【和去勢】7月の東京市場の和牛去 勢税込み平均枝肉単価は、A4が2038 円(前年同月比85%)、A3は1832円 (84%) となった。前月に比べそれぞ れ178円、184円上げた。A5は149円高 の2405円(88%)だった。

同機構は8月の和牛の全国出荷頭数 は3万4000頭(105%)と増加を見込ん

でいる。全体の出荷頭数は7万8700頭 (100%)と前年並みを予測している。

一方、8月の輸入量は総量で4万 9200 t (92%) と予測している。内訳 は冷蔵品が2万3100 t (89%)、冷凍

庭

消

期

品が2万6100 t (95%)。 新型コロナウイルス感染拡 大に伴い外食需要が減少 し、国内在庫が高水準にあ ることに加え、米国や豪州 の生産量の減少による現地 価格の高騰等から、冷蔵品、 冷凍品ともに前年同月を下 回ると見込んでいる。

例年であれば、夏休みな どで行楽需要が見込める が、今年は新型コロナウイ ルス感染拡大の影響で、需 要の大幅な増加は考えにく V10

大都市圏を中心に同ウイルスの感染 が再拡大している。当面、イベントや 会食の自粛が求められる。外食需要の 回復が遠のくことが懸念される。

外食控えで、内食向けの引き合いが 強まるとみられる。家庭消費の盛り上 がりに期待したい。相場は、総じても ちあいの展開が予想される。

向こう1ヵ月の東京市場の税込み平 均枝肉単価は、乳牛去勢B2が900~ 950円、F1去勢B3が1250~1350円、B 2は1100~1200円、和牛去勢A4が 1950~2050円、A3は1750~1850円で の相場展開か。

#### フ月の子牛取引状況

שאארונאגן נפנויי									(頭、」	kg、円)
ブロック	口括	頭 数		重量		1頭当たり金額		円/kg		
	品種	当月	前月	当月	前月	当月	前月	当月	前月	
北海道	乳去	569	631	291	292	231, 846	238, 309	797	816	
	Fı去	1, 148	1, 214	318	318	387, 567	383, 790	1, 219	1, 207	
	和去	1, 852	1, 418	313	314	660, 211	644, 876	2, 109	2, 054	
		乳去	9	16	199	193	87, 633	73, 906	440	383
東	北	F <sub>1</sub> 去	10	-	320	-	426, 030	_	1, 331	_
		和去	1, 761	1,837	308	308	617, 372	597, 638	2,007	1, 942
		乳去	72	89	283	284	282, 134	273, 084	997	962
関	東	Fı去	83	87	311	303	397, 749	383, 545	1, 277	1, 265
	和去	771	884	263	273	612, 349	624, 202	2, 330	2, 287	
		乳去	-	-	_	-	_	_	_	_
北陸	Fı去	-	-	_	-	_	_	-	_	
	和去	119	56	277	292	722, 977	615, 292	2,610	2, 107	
		乳去	10	7	289	293	246, 179	252, 057	853	860
東 海	海	Fı去	25	50	289	288	368, 676	343, 859	1, 276	1, 192
		和去	439	246	263	253	707, 981	615, 159	2, 690	2, 432
近		乳去	1	-	129	_	200, 200	-	1, 552	_
	畿	Fi去	2	_	185	_	344, 300	_	1,861	_
		和去	422	277	261	271	639, 715	647, 105	2, 452	2, 385
中 四		乳去	63	89	262	276	226, 966	214, 401	868	777
	四 国	Fi去	189	245	311	313	368, 429	370, 875	1, 183	1, 186
		和去	657	786	285	293	644, 010	624, 701	2, 257	2, 131
		乳去	4	32	282	270	195, 800	204, 221	696	757
九州・沖	州・沖縄	Fı去	82	236	285	304	396, 858	377, 659	1, 392	1, 242
		和去	7, 837	7, 117	291	295	684, 058	678, 742	2, 349	2, 298
全 国	国	乳去	728	864	286	287	234, 570	235, 233	820	820
		Fı去	1, 539	1, 836	315	314	386, 148	379, 758	1, 226	1, 209
	和去	13, 858	12, 621	293	296	666, 250	653, 796	2, 274	2, 209	

(独)農畜産業振興機構の公表データを基に本紙集計、当月は暫定値。 価格は消費税込み、重量・金額・単価は加重平均。 - は上場がなかったことを示す。 関東ブロックは山梨県、長野県、静岡県を含む。

#### 19年農業 肉畜は前年比0.6%上昇 飼料など生産資材でも

農水省がこのほど公表した「2019 農産物価格指数(2015年=100)をみ ると、畜産物のうち肉畜は96.9で、 前年よりも0.6%上昇した。乳用肥育 上昇が主な要因。農業生産資材価格 指数(同)は、飼料や肥料などが上昇 した。

肉畜の価格指数のうち、乳雄肥育 ホルスタイン種は105.8 (前年比 (0.3%低下) だった。乳用肥育交雑 種は、枝肉相場が堅調に推移したた め、大きく上昇した。肉豚は92.2% した。ブロイラーは97.2(1.0%低下) となっている。

子畜は121.9で0.6%低下。うち、ホル 年農業物価指数」(4面に概要)の スタイン種雄は161.9(10.3%低下)、 交雑種雄は140.5(6.8%上昇)だった。 肥育用乳用雄ホルスタイン種は124.9 (2.1%低下)、肥育用乳用交雑種は 交雑種などの肉用牛及び肉豚の価格 126.1(11.1%上昇)、和子牛雄は118.5 (0.2%低下)、和子牛雌は116.8(0.6% 上昇)となった。いずれの品種も15年 に比べ高値で推移している。子豚は 97.2 (1.4%上昇) だった。

一方、農業生産資材価格指数は、飼 1.9%上昇)、乳用肥育交雑種は101.7 料が97.3で1.2%上昇した。これは、配 (8.0%上昇)、去勢肥育和牛は106.3 合飼料が97.4(1.0%上昇)となったこ (1.1%低下)、雌肥育和牛は105.0 と等による。配合飼料のうち、肉用牛 肥育用は98.5(2.6%上昇)だった。そ のほか、光熱動力は106.8で0.2%低下 したものの、肥料が98.0(3.9%上昇)、 (1.7%上昇) で前年の下落から小戻 建築資材が104.4(2.0%上昇)、農機具 が100.8(0.5%上昇)とそれぞれ上昇し た。

#### 豚枝肉

家庭内食向け需 要の継続で、堅 調な相場展開か

7月の東京食肉市場税込み平均枝肉 単価は、上物が641円(前年同月比 114%)、中物は622円(117%)となっ た。前月に比べそれぞれ18円、20円上 げた。新型コロナウイルス感染拡大に 伴う家庭内食向け需要の高まりや、全 国的に出荷頭数が増えなかったことか ら、強もちあいの展開となった。

農水省の肉豚生産出荷予測による と、8月は127万5千頭(前年同月比 101%、過去5年同月平均比99%)、9月 は133万3千頭(104%、102%)と、平年 をやや上回って推移するとみている。

農畜産業振興機構の需給予測による と、8月の輸入量は総量で7万1800 t

(前年同月比85%)の見込み。内訳は 冷蔵品が3万3100 t (93%)、冷凍品 が3万8700 t (79%)。冷蔵品は新型 コロナウイルス感染拡大に伴う北米の 工場の操業停止等による生産量の減少 から、冷凍品は生産量の減少に加え、 国内の在庫量が高い水準にあること等 から、ともに前年同月を下回ると予測 している。

気温が急激に高くなり、肉豚の増体 への影響から、出荷頭数が予測より少 なくなることが考えられる。需要は、 同ウイルスの感染拡大で、内食向け需 要が継続するとみられる。相場は、堅 調な展開が予想される。

向こう1ヵ月の東京食肉市場税込み 平均枝肉単価は、上物が630~660円、 中物は580~610円での相場展開か。



スモール弱もち あい、乳・和子 牛はもちあいか

【乳素牛】7月の乳素牛の全国1頭 当たり税込み平均価格(左表、月末の 取引結果を除く暫定値)は、乳去勢が 23万4570円(前年同月比101%)、F<sub>1</sub>去 勢は38万6148円(77%)だった。前月に 比べ乳去勢は663円下げ、F1去勢は 6390円上げた。乳去勢は横ばいが続き、 F<sub>1</sub>去勢は5ヵ月ぶりに上げた。

需要期だが、枝肉相場の一段高は見 込みにくい。両品種とも、もちあいで

【スモール】7月の全国22市場の1 頭当たり税込み平均価格(農畜産業振 興機構調べ、暫定値)は、乳雄が11万 3967円(前年同月比85%)、F1(雄雌

含む)は21万238円(65%)となった。 前月に比べそれぞれ2万4598円、1万 5621円下げた。両品種とも北海道で値 を下げた。

例年、夏場は暑熱ストレスの懸念等 から、引き合いが弱まる。両品種とも、 弱もちあいの展開が予想される。

【和子牛】7月の和子牛去勢の全国 1頭当たり税込み平均価格は、66万 6250円(前年同月比83%)となった。 前月に比べ1万2454円上げた。枝肉相 場が6月から上げに転じ、7月も上昇 したことから、子牛価格は2ヵ月連続 で上げた。

新型コロナウイルスの感染拡大で、 枝肉相場の大幅な上昇は期待できない が、8月は子牛の開催市場数が少ない。 もちあいの展開が予想される。